MUKI CLEAR

トーケミ
無機クリヤー

水溶性溶剤タイプ

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

東京ケミテック株式会社
TEL.03-6826-0408　https://tochemi.jp

2026年12月現在

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

トーケミ無機クリヤー 水溶性溶剤タイプ

意匠を保ち、住まいの美しさを長く守る。

お気に入りの意匠性サイディング、

その美しい表情を、これからも長く楽しんでいただくために。

トーケミ無機クリヤー[水溶性溶剤タイプ]は

サイディング本来の色彩やデザインをそのままに、

住まいの外壁を保護する水溶性溶剤無機クリヤー塗料です。

無機有機ハイブリッド樹脂と水溶性溶剤の組み合わせにより

優れた造膜性と高い耐候性を実現。

意匠性サイディングの「美しさ」と「保護」を両立し、

その意匠を長く守ります。

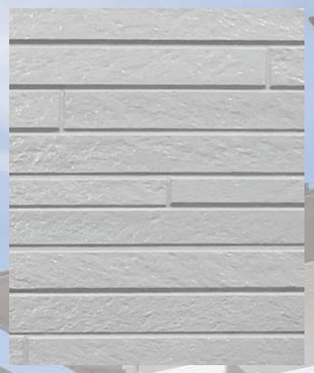
2液 水溶性溶剤 無機 サイディング クリヤー

外壁は紫外線や雨風などの外的環境に常にさらされています。年月とともに色あせや表面の劣化が進行すると、サイディングの状態によってはクリヤー塗装が難しくなり、せっかくの美しい意匠を「塗りつぶす」という選択になってしまいます。だからこそ、意匠を美しく保てる早い段階でのメンテナンスが大切です。クリヤー塗装でサイディング表面をコーティングすることで、新築時の美しい意匠を活かしながら、外壁の美観を守ります。

〈塗装前〉



〈単色塗装〉



単色で塗りつぶすとせっかくの美しい意匠が台無しになってしまいます。

トーケミ無機クリヤー
[水溶性溶剤タイプ]



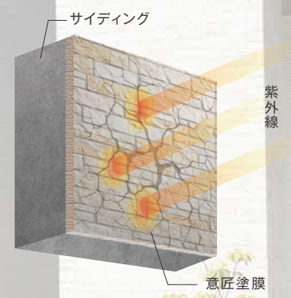
サイディングの意匠を活かしたまま、新築時のような美しさを長く保ちます。

近年、紫外線量や猛暑日の増加、各地で頻発するゲリラ豪雨など、建物を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。こうしたさまざまな劣化要因にさらされる建物を長く守るためにも、早めのメンテナンスが重要です。



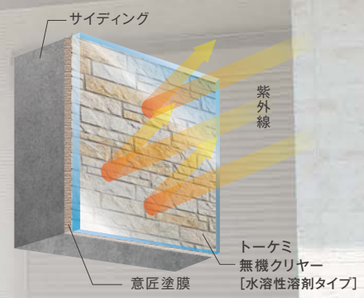


トーケミ無機クリヤー[水溶性溶剤タイプ]は、サイディングの色あせや劣化の原因となる紫外線の透過を長期的に抑制。サイディングの意匠性を維持し、美観を長く保ちます。



塗装しない場合

紫外線を浴び続けることで意匠塗膜が劣化し変色やひび割れが発生。



トーケミ無機クリヤー
[水溶性溶剤タイプ]を塗装

紫外線を抑制し、サイディングの意匠性を長期間保護。



トーケミ無機クリヤー 水溶性溶剤タイプ

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

水性と溶剤、それぞれの強みを活かす「水溶性溶剤塗料」

水性塗料と溶剤塗料には、それぞれの性質から生まれる異なる特長があります。
水溶性溶剤塗料は、双方の優れた面を引き出し、それぞれのメリットを兼ね備えています。

「水溶性溶剤」とは

水溶性溶剤とは、水に溶ける（混ざる・溶解する）性質を持つ溶剤のことです。一般的な溶剤は水と混ざりにくい性質を持っていますが、水溶性溶剤は水との親和性が高く水と均一に混合しやすいため、水による希釈がしやすいという特徴があります。水溶性溶剤は工業製品の製造や洗浄工程をはじめ、化学製品の原料、さらには身近な日用品に至るまで、幅広い分野で利用されています。



水溶性溶剤塗料は、複数の水溶性溶剤を組み合わせ、住宅塗装に求められる性能を引き出すよう設計された塗料です。水で希釈できる扱いやすさに加え、水性と溶剤それぞれの優れた特性を活かすことで、高い塗膜性能と美しい仕上がりを実現します。

水性塗料の優れた特性 ＋ 溶剤塗料の優れた特性 ＝ **水溶性溶剤塗料**
それぞれの優れた特性だけを備えた塗料

水溶性溶剤塗料のメリット

水性塗料

メリット
- 低臭・低VOC
- 取り扱いやすい
- 可とう性がある
- 透湿性がある
- 旧塗膜への影響が少ない

デメリット
- レベリング性が低い
- 光沢が低い
- 付着性が劣る
- 低温時の塗装性が劣る
- 高彩度色の調色に制約

溶剤塗料

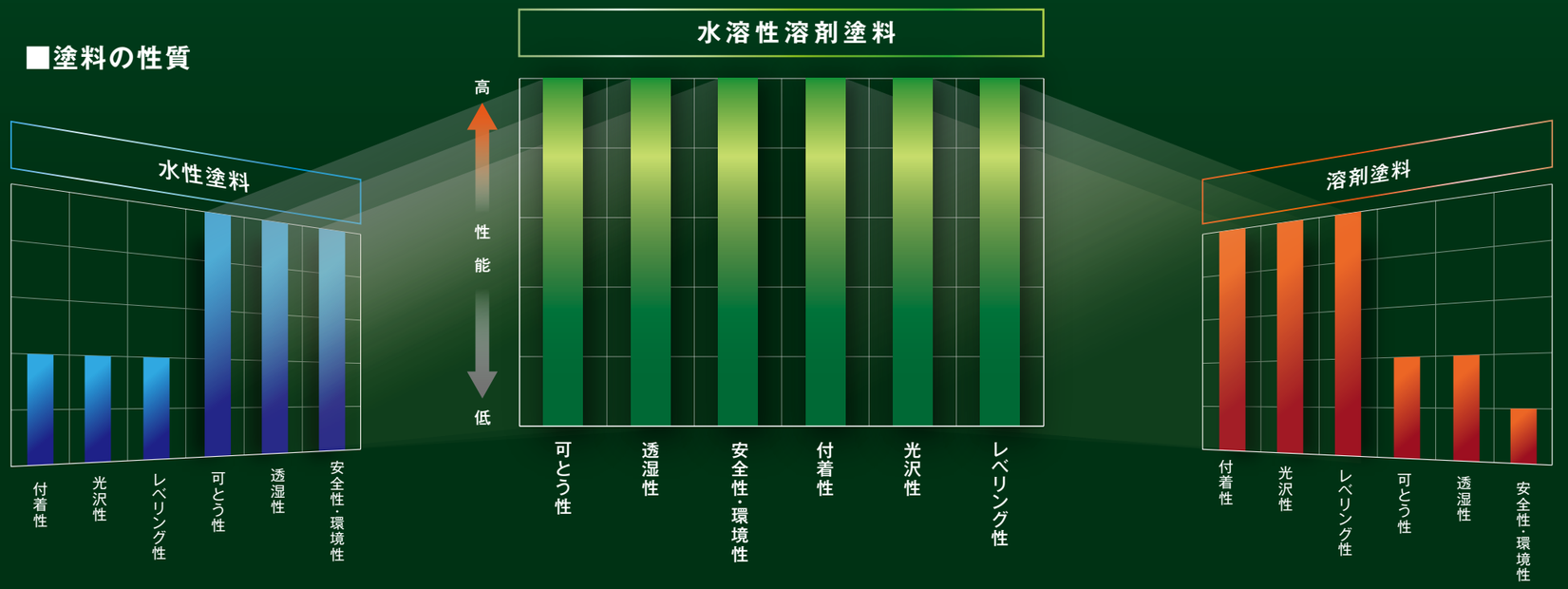
メリット
- レベリング性が高い
- 良好な光沢
- 優れた付着性
- 低温時も塗装しやすい
- 高彩度の調色が可能

デメリット
- 臭気が強い
- 危険物
- 透湿性が低い
- VOC排出量大
- 塗膜の縮みや白化などの不具合リスク

水溶性溶剤塗料

- 低臭・低VOC
- 取り扱いやすい
- レベリング性が高い
- 良好な光沢
- 可とう性がある
- 優れた付着性
- 透湿性に優れる
- 旧塗膜への影響が少ない
- 低温時も塗装しやすい
- 高彩度の調色が可能

■塗料の性質

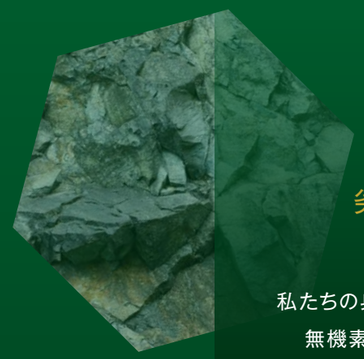




トーケミ無機クリヤー 水溶性溶剤タイプ

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

「無機」とは

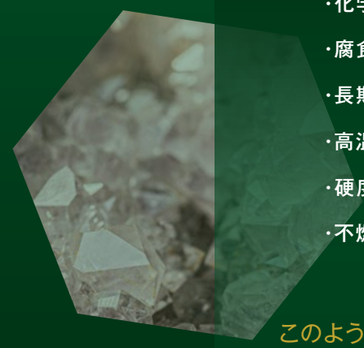


劣化しにくい性質を持つ素材

私たちの身の回りには、ガラスや石材、金属、陶磁器など、
無機素材からできたものが数多く存在しています。
これらの無機素材はそれぞれ異なる性質を持ちながらも、
いくつかの共通した特長を備えています。



- ·紫外線や熱の影響を受けにくい
- ·化学的に安定したものが多い
- ·腐食や酸化による劣化を受けにくい
- ·長期間にわたり安定した性能を維持しやすい
- ·高温環境でも性質が変化しにくい
- ·硬度が高く摩耗や傷に強いものがある
- ·不燃性·難燃性に優れるものが多い



このような無機素材が持つ優れた特性に着目し、
住宅用塗料へと応用したものが「無機塗料」です。

社会と暮らしを支える無機素材

優れた安定性や耐久性を持つ無機素材は、身近な日用品から最先端技術、社会を支えるインフラまで、幅広い分野で活用されています。



無機と有機の融合が、住まいを守る 新たな性能を生み出す

トーケミ無機クリヤー[水溶性溶剤タイプ]は、無機素材の優れた特性を住宅用塗料に応用し、
さらに有機樹脂が持つ柔軟性や密着性などの特性を組み合わせることで、
無機素材と有機素材、それぞれの長所を活かすことを可能にしました。

〈無機素材〉



耐候性
高硬度
化学的安定性

〈有機素材〉



柔軟性
密着性
造膜性

それぞれの長所を融合



〈無機有機ハイブリッド樹脂〉



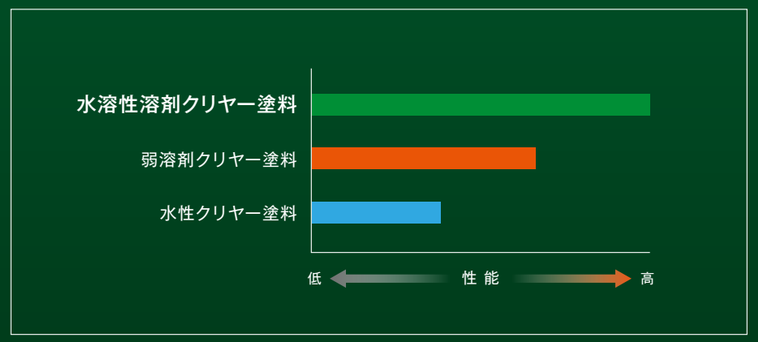
トーケミ無機クリヤー 水溶性溶剤タイプ

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

高い耐候性を発揮し、紫外線などの劣化要因からサイディングの意匠を守る

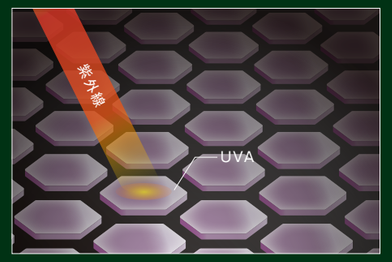
水性塗料と溶剤塗料、それぞれのメリットを活かした水溶性溶剤塗料は、
塗料が本来持つ性能を最大限に引き出し、
より高い耐候性と優れた塗膜性能を実現します。

■塗料の性能比較イメージ



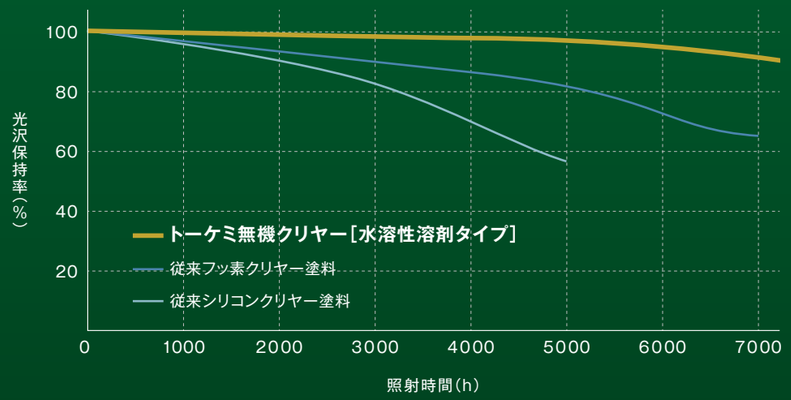
UVAが紫外線を吸収

トーケミ無機クリヤー[水溶性溶剤タイプ]はUVA(紫外線吸収剤)を樹脂に配合。塗膜劣化の原因となる紫外線を吸収して熱エネルギーに変換し、塗膜中への紫外線の拡散を防ぎます。これにより、耐候性のさらなる向上を可能にします。



促進耐候性試験(キセノンランプ式)

トーケミ無機クリヤー[水溶性溶剤タイプ]は促進耐候性試験において優れた耐候性を示しました。

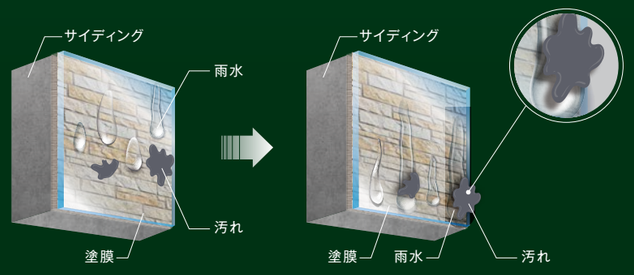


期待耐用年数
最大30年※

※期待耐用年数とは、塗膜の劣化が進み、下地を守る力が保てなくなると見込まれる時期の目安です。保証する年数ではありません。一般的な都市部の住宅で、標準的な環境と塗装条件のもとで施工した場合を想定しており、立地や気候、施工の条件によって、実際の年数は変わります。

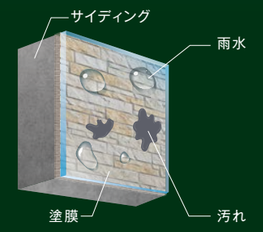
超低汚染性

トーケミ無機クリヤー[水溶性溶剤タイプ]の塗膜は水になじむ性質(親水性)発揮するため、付着した汚れを雨水によって洗い流します。また、藻やカビの発生も抑制し、長期にわたり建物の美観を保持します。



雨水が塗膜と付着した汚れの間に入り込み、
汚れを浮き上がらせて洗い流します。

一般的なクリヤー塗料



親水性が低く水をはじくため
汚れが付着し落ちにくい

※低汚染性は、塗膜表面への汚れの付着を抑制する性能を示すもので、すべての汚れを防止するものではありません。また、建物の構造・形状、立地条件、周辺環境等により、汚れの付着状況は異なります。



トーケミ無機クリヤー 水溶性溶剤タイプ

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

水性と溶剤の特長を兼ね備えた塗膜が意匠の美しさを引き立てる

透明性

意匠の再現性・保持性に優れ、その風合いを損なうことなく美観を維持します。

優れた付着性

サイディング下地への密着性に優れ、強固な塗膜を形成します。

高い透湿性

透湿性があるため、塗膜の膨れや剥離の原因となる内部結露を抑制します。

優れた可とう性

柔軟性に優れた塗膜が、外壁などの下地の伸縮や動きに追従します。

美しい艶

弱溶剤塗料をも超える優れた光沢感がサイディングの表情を引き立て、上質な印象を与えます。

美しい仕上がり

均一で美しい塗膜を形成し、意匠性サイディング本来の色彩や質感を活かした、ムラのない美しい仕上がりに整えます。



トーケミ無機クリヤー［水溶性溶剤タイプ］

2液水溶性溶剤高耐候形外壁用無機系クリヤー塗料

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（2回塗り）
トーケミ無機クリヤー［水溶性溶剤タイプ］	透明	艶有り	12.8kgセット（主剤12kg・硬化剤0.8kg）	主剤：硬化剤＝15：1	8時間以内（23℃）	約49～64㎡/12.8kg

適用基材

外壁	意匠サイディング（新築～10年程度で、劣化・チョーキングが軽度のもの）

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（重量%）	塗装方法
事前診断	新築～10年程度で、劣化・チョーキングが軽度の基材に施工する。劣化の程度により付着不良・白化・むらが生じるため、チョーキング面など施工に適さない下地には施工しない。判断がつかない場合は試験施工を行い、吸込み・付着性を確認する。						
下地調整	ごみ・ほこり・油脂類・異物などの付着物を入念に除去し、高圧洗浄後は十分に乾燥させる。劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いて除去する。						
上塗り	トーケミ無機クリヤー［水溶性溶剤タイプ］	2	0.10～0.13	4時間以上	水道水	0～5	はけ・エアレスウールローラー

注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】

01. かくはん初期は硬化剤が水となじみにくく、手作業のかくはんでは混合不良となる場合があります。必ず電動かくはん機を使用してください。
02. ハイバイルローラーは、気泡が消えずに白濁する場合があるため使用しないでください。
03. 溝の深いサイディングや粗面で塗料がたまると、白濁して硬化します。塗料だまりができないよう均一に塗装してください。
04. チョーキングが目立つ下地には塗装しないでください。仕上がりのむらや、塗装後のはく離の原因となります。
05. 素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工しないでください。

【施工環境・気象条件】

06. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
07. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
08. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
09. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】

10. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
11. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。
12. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。防藻・防かび性は繁殖を抑制するものです。
13. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。

【調合・希釈・かくはん】

14. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
15. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は光沢低下・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一としてください。
16. 使用前に十分にかくはんしてください。艶調整品は艶消し剤が沈降しやすいため特に入念に。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【塗装作業】

17. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると性能が十分に発揮されないおそれがあります。
18. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
19. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
20. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【仕上がり・補修】

21. 被塗物の形状・膜厚・塗装方法などにより、艶や仕上がりが見本と若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを行ってください。
22. 艶調整品は塗り継ぎで艶むらが生じやすいため、面を切って通し塗りしてください。
23. 補修用に使用塗料のロットを控えておき、同一ロット・同一希釈率・同一塗装方法で補修してください。はけ塗りとローラー塗りが混在すると、仕上がり肌や色相に若干の差が生じます。

【適用部位・部材】

24. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
25. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。
26. ドア・手すりなど人が頻繁に触れる部位、床・家具・遊具への塗装は避けてください。

【保管・取扱い・廃棄】

27. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
28. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
29. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
30. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
31. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

■本仕様書の内容は予告なく変更することがあります。■危険有害性情報・取扱い上の注意は、安全データシート（SDS）をご参照ください。